

ゆほびか通信

平成28年 11月号

発行者 エコウイングあかし事務局

(明石市環境部環境総務課計画係)

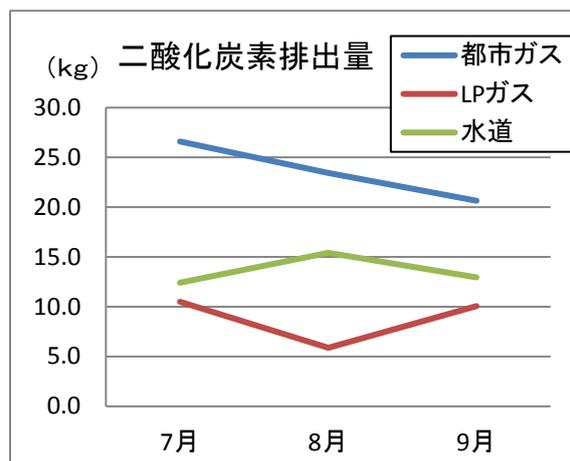
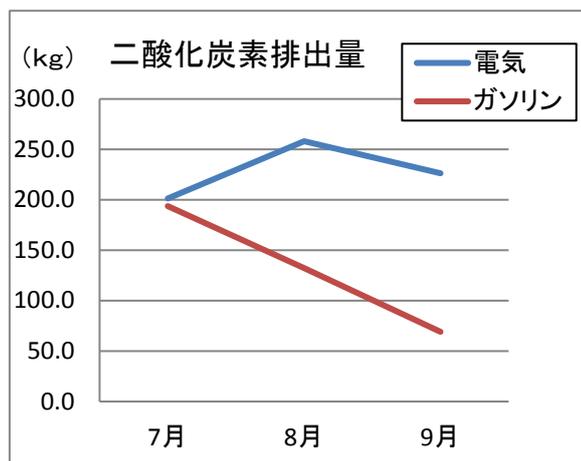
〒674-0053 明石市大久保町松陰 1131

Tel: 078-918-5029 Fax :078-918-5586

編集:エネルギーグループ(年4回)

1. ゆほびか活動

環境家計簿の平成28年7～9月の結果を報告します。



これまで全てのデータを同一の図に表示していたため、ガスや水道の推移が分かりにくかったです。上図のように2つに分けて表示すると推移が分かりやすいです。これによるとガソリンと都市ガスからの二酸化炭素排出量が減少しているのが分かります。ガソリンについては会員の中で、エコカーに乗り換えたという報告があるので、その結果と考えられるが、データが少ないので、もう少し様子を見たいと思います。

2. イオン環境フェア

10月の15、16日の二日間、いつもと同じJR大久保駅前イオン2号館海の広場で開催され、エネルギーグループは16日(日)に出展しました。今回はドライブシミュレータがうまく作動せず、残念ながら来場の方に日頃のエコドライブの実力を計測していただくことができませんでしたが、環境クイズは内容を一新して多くの方に挑戦していただきました。

3. 明石の地産地消エネルギーセミナー第4回、第5回開催

第4回は9月17日に生涯学習センターで開催し、特別講師として宝塚すみれ発電(株)代表取締役、井上保子さんを迎え、「地域の再エネ事業の立ち上げ、その発想から実現までのプロセスを追って」のテーマの下、市民主導で実現・運用されている宝塚でのエネルギー地産地消の立ち上げから運用などについて、先駆者の貴重な経験を聞くことができました。

第5回(最終回)は10月23日、生涯学習センターで開催し、「みやま市における地域新電力設立と街づくり～エネルギーとあわせの見えるまちづくり～」のテーマで、遠路福岡県みやま市から環境経済部エネルギー政策課エネルギー政策係長 渡邊満昭氏をお迎えし、人口約4万人・1万4千世帯のなか、市の強力なリーダーシップで約8%の家庭で太陽光発電設備を設置しエネルギー地産地消を实践され、人口増加や高齢者見守りにも役立っている実例を披露していただきました。セミナー後半はシンポジウムが開催され、市環境総務課長:杉山氏、コープこうべ環境推進統括:益尾氏、中西電機(株)取締役:中西氏、エコウイングあかし会長:川島氏のほか受講者の方などをパネリストに、会場の受講者を交えて活発な意見交換がありました。